

指揮

あ



青島広志

1955年東京生まれ。東京藝術大学および大学院修士課程を首席で修了し、修了作品のオペラ『黄金の国』(原作:遠藤周作)が同大図書館に購入され、過去2回の東京都芸術フェスティバル主催公演となる。作曲家としては『火の鳥』(原作:手塚治虫)、『黒蜥蜴』(原作:三島由紀夫)、管弦楽曲『その後のピーターと狼』合唱曲『マザーグースの歌』ミュージカル『11ぴきのネコ』など、その作品は200曲に及ぶ。ピアニスト・指揮者としての活動も40年を超え、最近ではコンサートやイベントのプロデュースも数多くこなしている。東京藝術大学、洗足学園音楽大学客員教授。日本現代音楽協会、作曲家協議会、東京室内歌劇場会員。

283字



岩村力

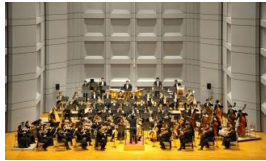
早稲田大学理工学部電子通信学科、および桐朋学園大学演奏学科を卒業。マスタープレイヤーズ指揮者コンクール優勝ほか数多くの国際コンクールにて入賞。これまでにハンガリー響、N響等内外のオーケストラを指揮するほか、アルゲリッチの要請によりパドヴァ室内管弦楽団と共演し国際的に活躍。2000-07年、NHK交響楽団アシスタントコンダクター。2010年より、兵庫芸術文化センター管弦楽団レジデント・コンダクター。2015年、兵庫県功労者表彰(文化功労)受賞。

207字

か、さ、た、な、は、ま、や、ら、わ

オーケストラ

あ、か
さ



シアター オーケストラトキョー

2005年、バレエを中心とした“劇場”を主な活動の場とする管弦楽団として結成された。同年、Kバレエカンパニー『くるみ割り人形』公演での演奏が各方面より高く評価され、06年よりすべての公演の演奏を務めている。07年1月、福田一雄が音楽監督に就任。09年4月には初のCD「熊川哲也のくるみ割り人形」をリリース。

劇場音楽への深い理解と意欲的な取り組みは常に注目を集め、パリ・オペラ座バレエ団、サンクトペテルブルグバレエ、モスクワ・クラシックバレエ来日公演をはじめ、日本バレエ協会など国内外のバレエ公演のほか、三枝成彰『悲嘆』『Jr.バタフライ』、「モーツァルト交響曲全45曲演奏会」、テレビ朝日「なんでも!クラシック」「世界まるごとクラシック」、熊川哲也プロデュース「舞曲」「青島広志のバレエ音楽ってステキ!」などオペラ公演やコンサート、室内楽等でも広く演奏活動を行っている。

375字

STAND UP!
ORCHESTRA

STAND UP! ORCHESTRA

ソニー・ミュージックエンタテインメント主宰『STAND UP! CLASSIC』プロジェクト。“さあ、立ち上がろう!クラシックを、もっとエンターテインメントに”の呼び声にこたえた、若きクラシック演奏家1,000名の中から結成された新たなユースオーケストラ。20代から放たれる、高い技術に裏打ちされた力強い演奏・パフォーマンスが魅力。BSフジ放送“世界の音楽~ハロー!クラシック”(毎週土曜日 24:30~)にレギュラー出演。

208字

た、な
は



ぱんだウインドオーケストラ

吹奏楽へのアツイ思いを原動力に2011年に東京・上野の東京藝大入学生を中心に結成。楽団名は時を同じくして上野にやってきた二頭の“パンダ”に由来。これまでに山下一史、山田和樹、J.ヘイワードなどの指揮者と共演を重ねている。TV朝日「題名のない音楽会」やNHK「ららら♪クラシック」の他、メディア出演も多く、「PANDASTIC!!~Live2016~」(日本コロムビア)など6枚のCDをリリースしている。

平均年齢は25歳。結成当初より新時代の吹奏楽団として幅広い活動を続け、吹奏楽界に新しい風を巻き起こしている。

229字

ま、や、ら、わ